

のんのん



ロシア軍の攻撃を受けた、ウクライナの首都キーウのショッピングセンター。周辺のがれきは片付けられていた＝1日(共同)

岐阜新聞掲載写真より(令和4年4月2日)

和を以て貴し

とうと



岐阜県仏教会

会長 杉山 令憲

新型コロナウイルス感染症は、三年目に入りました。なかなか収束は見えず、生活が閉鎖的になり、寺院の活動も縮小を余儀なくされています。早い収束を願うばかりです。

さて昨年は、平和の祭典「東京オリンピック・パラリンピック」と冬季の「北京オリンピック・パラリンピック」が開催され大きな感動が報道されました。

一方、悲しい出来事が起きました。ロシアのウクライナ侵攻が世界中を悲しみに包んでいます。いつ世界に平和が訪れるかわかりません。いかなる理由があっても武力で相手を打ち負かさうとする「戦争」は、人命を失うと共に生活をも破壊して、人類の歴史に大きな汚点を残すのみです。対話による解決が望まれます。

我が国は、先の大戦での深い反省から「平和憲法」のもと人命を大切にすることを第一に世界平和を願っています。

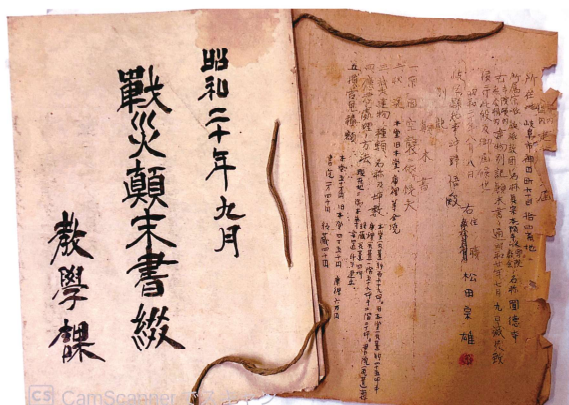
今回の特集では、県内の一部ですが空襲による寺院の被災状況を掲載しています。焼失した建物が多年を経て、再建された寺院、梵鐘を供出し再鑄造された寺院があります。復興には多くの時間、労力、金銭等が伴います。

岐阜県仏教会は、聖徳太子が掲げた「和を以て貴し」、また和合を旨とする仏教の教えから戦争に反対し、世界に平和がもたらされることを願うばかりです。

岐阜空襲

寺院教会の顛末書発見

昭和二十年（一九四五）七月九日深夜、アメリカ軍B29爆撃機約百三十機が一万発を超える焼夷弾を岐阜市街地に投下した。死者九百人、全半壊二万户、罹災者十万人とも言われている。この空襲被害の内、寺院や教会の被災状況をまとめた「戦災顛末書綴」が、本巣郡北方町清



戦災顛末書綴

水の浄土真宗本願寺派西順寺の本堂書庫で発見された。

「戦災顛末書綴」は茶封筒に入り、表紙には「昭和二十年九月 戦災顛末書綴 教学課」、内

部は「境内構内建物滅失届」と「顛末書」からなり、五十一の寺院と教会から提出された書類五十五枚が紐で綴じられていた。

「境内構内建物滅失届」には所在地、所属宗派、寺院教会の名称が、「顛末書」には原因、状況、被災した建物の種類、名称、建坪、損害見積額などが記載されていた。具体的には、空襲を受けた時刻、建物の全焼半焼の別、避難先、寺院によっては本尊や過去帳などを持ち出して無事という記述もあり、岐阜空襲被害を伝える貴重な資料である。

この資料から次の点が分かる。①この岐阜県知事宛「戦災顛末書綴」の届出年月日は「昭和二十年八月」とあり、終戦直後であることから行政機関は機能し

ておらず、岐阜市仏教会が顛末書を取りまとめた可能性があること。

②県の宗教関係担当「教学課」に提出されたものを西順寺先々代住職の三浦乗雲師が何らかの理由で手に入れ、保管していたこと。

③宗教施設五十一ヶ所の内、所在地が特定できないのは四施設、所在地番地は判明しているが移転又は廃止が十三施設あること。

戦後七十七年が経過し、岐阜空襲を知る方は減りつつあります。空襲を体験した市民、関係者から聴き取り調査を進め、これまで知られていない戦跡を明らかにし、平和への一端を担うべく活動してまいります。是非ともこの紙面を読まれた

岐阜空襲 寺院教会51の「顛末」



書庫から見つかった「戦災顛末書綴」の表紙。手書きの「顛末書綴」とある。右は「顛末書綴」の表紙。手書きの「顛末書綴」とある。

1945年7月9日深夜、岐阜市街地に焼夷弾を投じたB29爆撃機約130機が、焼夷弾を投じた。死者九百人、全半壊二万户、罹災者十万人とされる。日本軍の抵抗はほとんどなかったという。戦災顛末書綴は、境内構内建物滅失届と顛末書からなる。境内構内建物滅失届は、所在地、所属宗派、寺院教会の名称、被災した建物の種類、名称、建坪、損害見積額などが記載されている。顛末書は、原因、状況、被災した建物の種類、名称、建坪、損害見積額などが記載されている。戦災顛末書綴は、境内構内建物滅失届と顛末書からなる。境内構内建物滅失届は、所在地、所属宗派、寺院教会の名称、被災した建物の種類、名称、建坪、損害見積額などが記載されている。顛末書は、原因、状況、被災した建物の種類、名称、建坪、損害見積額などが記載されている。

北方・西順寺で発見

岐阜空襲 1945年7月9日深夜、米軍のB29爆撃機約130機が、焼夷弾を投じた。死者九百人、全半壊二万户、罹災者十万人とされる。日本軍の抵抗はほとんどなかったという。

戦災の全体像解明へ 調査研究会も発足

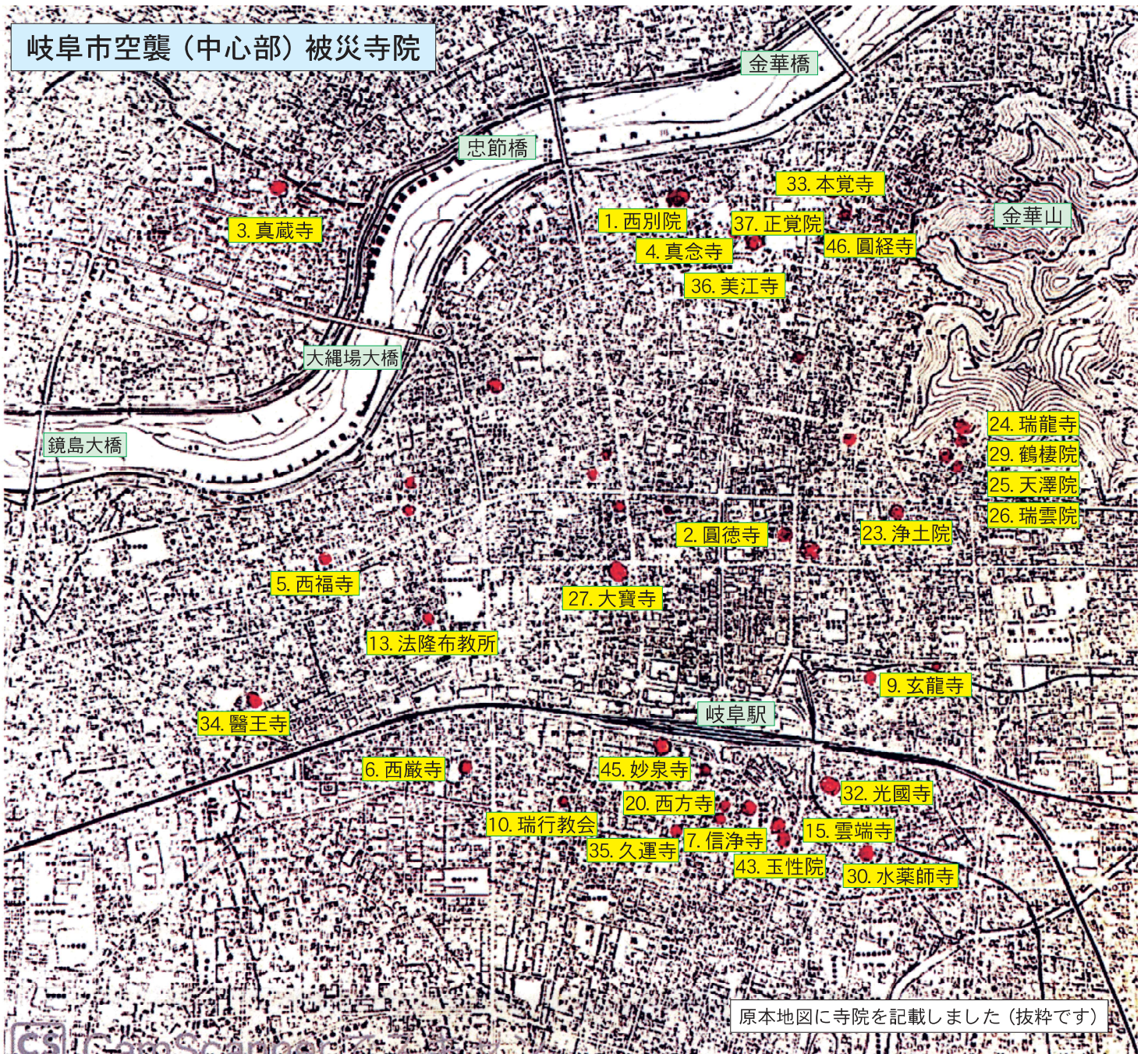
岐阜空襲 1945年7月9日深夜、米軍のB29爆撃機約130機が、焼夷弾を投じた。死者九百人、全半壊二万户、罹災者十万人とされる。日本軍の抵抗はほとんどなかったという。戦災顛末書綴は、境内構内建物滅失届と顛末書からなる。境内構内建物滅失届は、所在地、所属宗派、寺院教会の名称、被災した建物の種類、名称、建坪、損害見積額などが記載されている。顛末書は、原因、状況、被災した建物の種類、名称、建坪、損害見積額などが記載されている。

「布教所が全焼」本尊は無事」住職ら綴る

皆様には、この調査への積極的なご協力、並びに情報提供（特に寺院・辻堂の移転先、お地藏様等のゆくえ、空襲時の様子など）をお願い申し上げます。

情報提供や問い合わせ先
戦災顛末書調査研究会
三浦まで
090・4864・2961

岐阜市空襲（中心部）被災寺院



戦災顛末書に記載の寺院名

1. 岐阜別院	西野町 3-1	18. 高野教会	高野町 7-78	35. 久運寺	加納天神町 4-21
2. 圓徳寺	神田町 6-14	19. 浄信教会	室戸町 1-28	36. 美江寺	美江寺町 29
3. 真蔵寺	近島	20. 西方寺	加納新本町 1-38	37. 正覚院	北八寺町 22
4. 真念寺	佐久間町 47	21. 寶樹院	加納町清水 1	38. 太子堂教会	駒爪町 2-5
5. 西福寺	島田西町 86	22. 欣浄寺	加納栄町通 2-4	39. 本荘教会	鍵谷西町 1-34 (本荘 786)
6. 西巖寺	清 617-1	23. 浄土院	駒爪町 3-29-1	40. 不動教会	千手堂北町 1-1
7. 信浄寺	加納清水町 1	24. 瑞龍寺	寺町 19	41. 輝嶽教会所	大寶町 1-13
8. 尊照寺	則武	25. 天澤院	寺町 19	42. 高家寺	加納栄町通 1-13
9. 玄龍寺	幸之町	26. 瑞雲院	寺町 19	43. 玉性院	加納天神町 3-14
10. 瑞行教会	加納神明町 1-8	27. 大寶寺	大室町 2-11	44. 弘法教会	鍵谷西町 1-64 (本荘 833-2)
11. 白山教会	白山町 1-24	28. 観音寺	敷島町 2	45. 妙泉寺	加納伏見町 10
12. 真城教会	本庄区羽衣町 1	29. 鶴棲院	寺町 19	46. 圓経寺	泉町 50
13. 法隆布教所	千手堂南町 4-23	30. 水薬師寺	加納南廣江町 69	47. 岐阜教会	本荘沖橋
14. 西覚寺	吉津町 2	31. 阿願寺	東島 60	48. 岐阜教会	松瀬町 1-16
15. 雲端寺	加納天神町 3-20	32. 光國寺	加納西廣江町 2-18	49. 大岐分教会	柳川町 8
16. 永照教会	海老町 1	33. 本覚寺	泉町 64	50. 岐阜分教会	本郷町 4-22
17. 美殿教会	三殿町 31	34. 醫王寺	本荘比花町 6	51. 正金分教会	神明町 1-16

消防団



消防団に所属して

甘南美寺 横山大周

私は住職をさせていただいている傍ら、山県市消防団に所属しております。主な活動としては月に一度の管内の見回り、消火活動の訓練など、また火災の際には現場に向かい、消防署の方の補助をしております。

山県市に生まれ育った私は修行道場での生活に一旦区切りをつけた後、自坊に戻ってまいりました。山県市は過疎化の進む地域、当時二十代であった私は「地元の手が帰ってきた」と、早速に入団の打診がありました。しかしながら、消防団の活動や、式典（出初式、入団式など）は土日に行われるため、法要などと重複することが多く最初は入団をためらいました。

そんな中、妙心寺派の本山である妙心寺での研修会に参加した際「地元の活動に積極的に参加し地元の方との付き合いを強く持ちなさい」と指導を受けました。確かにお寺離れなどが強く叫ばれ

る中、地元の集まりに参加することは意味のあることだと感じました。ためらっていた私の心は背中を押されたように感じました。

そして、私も地元で役に立ちたい、活動したいという気持ちは常々持っておりましたので、思い切って入団をしました。

いざ入団してみると旧知の友との再会などはもちろん、檀家のお子さん、お孫さんなども繋がることができ、地域活動に参加することの意義を感じることができました。

もちろん活動に参加できない時もあります。法務に影響の出ない時には、今後とも地元と密に関わりながら、積極的に活動に参加してまいります。



ります。お寺を存続するため、住職は火の取扱いに非常に気を使わなければなりません。本堂での「灰の取り扱い」により失火する例が過去にも多くあります。怖いのは「消したつもり」は絶対駄目です。灰の取り扱いには十分注意をして完全に消えたことを必ず確認する事が大切です。

また、お墓参りでの「ろうそく・線香の取り扱い」など、すぐに火を消すことを呼びかけることも重要です。

「何より大事なものは火事を起こさないこと。」が一番大切なことです。

最後になりますが、火災に遭われました寺町の瑞雲院様ですが、現在再建に向けて懸命に頑張っておられます。一人でも多くの方が応援して頂ければ幸いです。



寺院防災拠点化について

岐阜市役所都市防災部 江崎 様より

「自助・共助・公助」

という言葉があります。

このうち、防災において最も基本となるのが、

「自分や家族の生命、暮らしは自ら守る」という「自助」の考え方です。

しかし、大規模な自然災害が発生した時には、自分や家族の力だけでは被災が避けられない場合があります。また、大規模災害時には、消防や自衛隊などの活動は大幅に制限され、迅速な救助活動が困難になることも十分に想定されます。

そんなとき、地域の住民が協力し合い、負傷者や、高齢者、障がい者といった人たちを手助けするなど、皆さんが互いに助け合う、いわゆる「共助」の考え方が必要になります。「地域防災」とい

うことを考えるとき、この共助こそがその要と云えるのではないのでしょうか。

では皆さんが、地域防災について、日頃からどのようなことを心掛け、実践するべきでしょうか。

地域防災には、地域の人と人の繋がりや日頃の協力の関係、顔の見える関係が必要不可欠です。自分たちが住む地域の災害への備えは、地域で共に考え、ともに取り組むことが大切だと言えます。

日頃暮らす地域の環境や地理などを知るということは、災害発生時のスムーズな避難行動につながります。

どちらも、地域の中で縁を結ばれ、活動されている寺院関係者の皆様にと

っては「得意分野」と言えるのではないのでしょうか。

岐阜県内では、大規模災害時に避難所が不足する事態に備え、寺院等宗教施設の方々と、災害時の施設開放を目的とした覚書等を取り交わす事務を続けており、すでにご協力をお願いしております。

皆様が共助の重要な担い手となり、地域防災の実現の大きな力となっていただければ、我々にとって、こんなに心強いことはありません。



寺院の防火について

みなさん、毎年1月26日は「文化財防火デー」です。ご存知でしょうか？

昭和24年（1949年）のこの日に、奈良・法隆寺の金堂が火事になったことから、「文化財を火事から守ろう」ということで定められたものです。全国の神社仏閣等ではこの日、防火訓練が行われています。

さる、2021年2月1日、岐阜市寺町の瑞雲院で漏電による火災があり、庫裏2階から出火し、庫裏、書院、本堂の屋根裏が焼け落ち、被害に遭われました。寺町周辺は瑞龍寺を含めて7ヶ寺が集まっており、その後に関係者や周辺住民との話し合いで、今後の火災対策として、火災の早期発見、初期消火、延焼防止の必要があると結論がでました。火災が拡大しないように、初期消火が重要であり防火対策として、関係者や周辺住民による初期消火活動が必要となります。

また、お寺には多くの方が出入りします。ですから、火事を出さないことが非常に重要にな



「第七十二回岐阜新聞大賞」

教育文化部門に、岐阜県仏教会名誉会長で正眼寺住職・正眼短期大学理事長の山川宗玄老大師が受賞されました。正眼寺での寺院の後継者育成、仏教や禅を志す外国人への指導、外国に赴き国際親善活動、正眼短期大学での行学一体の教育による人材育成、国内各地での講演や著作活動で、心のあり様や人の道を説く活動を永年続けられたことが受賞理由です。

令和四年二月五日 岐阜放送本社にて



鎌倉殿の13人 — 承久じょうきゆうの乱と前渡まえどの人々 —

各務原市の前渡にある矢熊山周辺は、今年の大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の主人公、北条義時と縁が深い。矢熊山の頂上には、眼病平癒で有名な佛眼院という寺院があり、前渡不動尊の愛称で親しまれている。その参道には、「承久の乱供養塔」が祀られている。「承久の乱」とは、今から約800年前、後鳥羽上皇と北条義時が、木曾川をまたいで争い、義時軍が勝利を収めた合戦であるが、前渡は激戦区であり、多くの命が失われた。そこで当時の村人達は、前渡の西宮寺（現在は廃寺）に、幾つもの五輪石塔を建立し、両軍の戦没者供養を行っていた。しかし、後年発生した木曾川の氾濫により、西宮寺は流されてしまい、石塔も長年、行方不明となってしまった。ところが、昭和初期に行われた県道工事の際、矢熊山西側より、この五輪塔が多数発掘され、再び地元の有志の人達により、現在の佛眼院参道に祀られる運びとなった。現在は、毎年6月に慰霊法要が厳修され、日々多くの人が訪れている。

「承久の乱」が起こった鎌倉時代は、多くの宗派の開祖が出現し、信仰が広まった時期である。戦の陰に多くの民衆の祈りが存在した事を理解した上で、ドラマを見ると、また違った感想が得られるのかもしれない。



「トイレ掃除」

松久宗心

40年間住職を務めた寺を、後進に託し、今の小庵に単身赴任して、はや5年が経つ。

思い返してみると、私は40年間トイレの掃除をしなかった。庭の掃除はしたが、建物の中の掃除は、妻がした。結婚後4年間に生まれた3人の子供の世話をしながら、昔ながらのトイレの掃除は、妻がした。

私は、かつてトイレ掃除をしなかったわけではない。大学の寮生活時代は、何か失敗すると、一週間の共同トイレの掃除が課せられた。いつもトイレ掃除をしていた気がする。

50年前の修行時代のトイレは、まだ汲み取り式

であった。二人で肥桶を担ぐと、よく《おつり》をいただいた。

今、トイレ掃除は自分です。20年間無住で、使われていなかったトイレだが、今のトイレ用洗剤は性能が良い。汚れがよく落ちる。

トイレ掃除をしていて気づいたことがある。なぜ私は、40年間トイレの掃除をしなかったのだろうか。妻が家事に忙殺されている時、なぜ代わってトイレ掃除をしなかったのだろうか。トイレ掃除だけではない、風呂掃除も、廊下の掃除も、玄関の掃除もしなかった。掃除をしてほしいと頼まれなかったからか。今更ながら慙愧に堪えない。

今一人でトイレ掃除をしていると、なぜか気分が落ち着き、心が穏やかになる。ささやかながら、妻に対するつぐないの思いが、潜んでいるのかもしれない。



第28回 栄叡大師顕彰法要 令和4年6月14日(火) 正眼寺にて

法要参加ご希望の方は、岐阜県仏教会事務局まで。電話 058-266-7803 (10:00 ~ 16:00 平日のみ)

<p>山県市高富一三六八一二 〇五八一―二二―三八七〇</p> <p>株山 県 金属</p>	<p>創業安政二年 岐阜市末広町八九 〇五八一―二六三一―〇三三二</p> <p>株藤 井 佛 檀</p>	<p>(窓口) 岐阜市真砂町十一―十二 〇五八一―二六二―二三三五</p> <p>岐阜葬具同業組合</p>	<p>墓石専門店 岐阜市芥見四―二二 〇五八一―二四三一―一六三</p> <p>有丸 神 石 材</p>	<p>山県市小倉六一八―四一 〇五八一―三六一―三〇〇五</p> <p>東 光 寺</p>	<p>岐阜市島田西町八五 〇五八一―二五一―〇〇一一</p> <p>河野 西 福 寺</p>
<p>岐阜市金園町五―二六 〇五八一―二四五―八九八二</p> <p>岐山タイプ印刷</p>	<p>濃厚卵黄もみじたまご 山県市梅原一六三〇 〇五八一―二二―五三三七二</p> <p>株山 田 養 鶏</p>	<p>羽島郡笠松町長池二八― 〇五八一―三八八―〇六一一</p> <p>レストハウス 夕 雨</p>	<p>黒にんにく 美濃山県元氣ファーム 山県市松尾三―二五 〇五八一―三六一―二三〇六</p> <p>梅 田 建 設 株</p>	<p>山県市東深瀬一四二―一二 〇五八一―二二―一五八〇</p> <p>株丸 義 製 材</p>	<p>(順不同)</p>



お詫びとご報告

「県民の集い」大会にご協賛して頂きました 高山市仏教会様を、「のんのん特別号」に掲載すべきところ、もれがございましたので、ここに謹んでお詫びとご報告申し上げます。

「県民の集い」実行委員会

旋風打

選手は、自らの努力で金メダルを手にする。また戦争が勃発して金の価格上昇で潤った人もいる。金の魅力は何か？

金は、人以外には「猫に小判」。人には貴金属。柔らかく、展延性があり、黄色で光沢がある。電子部品には欠かせない。また「大冶の精金、変色なし」と、鍛え抜かれた金は変色を起こさない。

現在、新卒採用者の約三割が三年以内に離職する。自分に向いていないとか、思ったような職場でないとか。

一つの仕事(道)を究めるには長期に亘る。その間、順調で喜び合う時もあるが、多くは逆境で山あり谷あり、挫折あり、辞めたい、汗と涙の苦労の連続。そこを乗り越えて、自分が決めた勉強でもス

ポーツでも仕事でも貫徹するにはどうするか。

人は、特に若い時には、本金のように鍛えるべき時には鍛え、精を出して前に進むこと、最後までやり抜く心を育むことではないか。

私たちは、目的や目標に向かって、日々の精進によって、自分自身を鍛えることができる。私たち自身が鍛えて本金になり、本金的な生き方、人生に金メダルをかけられるよう、日々精進したい。くれぐれも、金メッキのような付け焼き刃的、場当たりの生き方でなく、「人は言を以て試む」と言います。言葉と行動を大切に。

(正光)



<p>真宗大谷派 岐阜別院 輪番 海老原 章 岐阜市大門町一番地 〇五八二二六二一三三八〇</p>	<p>浄土真宗本願寺派 本願寺岐阜別院 〔西別院〕 輪番 藤岡大英 岐阜市西野町三丁目一 〇五八二二六二一〇三三一</p>	<p>臨濟宗妙心寺派 瑞龍寺 清田保南 岐阜市寺町十九 〇五八二二四六一二五九七</p>	<p>正眼寺 美濃加茂市伊深町八七二一二 正眼短期大学 美濃加茂市伊深町八七六一一〇</p>	<p>法衣・仏具・稚児貸衣装 総合アドバイザー 鷺見法衣仏具店 岐阜市光町一丁目(元忠節駅北) 〇五八二二三二一三三〇六</p>
<p>石造建築・墓地整備 株ウツドストン 山田石商 岐阜市山県岩二四 〇五八二二二九一三九〇九</p>	<p>各宗派仏壇仏具・仏壇修理洗濯 岐阜東別院南 有宮本佛壇店 岐阜市小幡町二丁目 〇五八二二六三一〇七七三</p>	<p>寺院仏具製作・販売 有天真堂 中央社寺工藝社 名古屋市区 城西一丁目十番二一 〇五二五五三二一〇六〇七</p>	<p>手造り仏壇ひとすじ 神田仏壇店 岐阜市大門町十一番地 〇五八二二六二一七四一四</p>	<p>スポーツコミュニティ・レッズ 岐阜中央 スイミングスクール 岐阜市五坪一(田神駅南) 〇五八二二四六一六〇六〇</p>



発行：令和4年5月15日
(仏暦2565年)
岐阜県仏教会事務局
〒500-8882 岐阜市西野町3丁目1番地
岐阜西別院内
☎ 058-266-7803
編集：出版委員会

仏教ぎふ
通算第115号
『のんのん』第4号

編集後記 「生きて虜囚の辱めを受けず、死して罪禍の汚名を残すこと勿れ」この旧日本軍の戦陣訓が、オーストラリア・カウラ日本軍捕虜脱走事件へと繋がる。死者数235名、日本人負傷者数108名、後に收容所跡地にカウラ日本人墓地が建設された。『カウラの風』(著者：土屋康夫)又はDVD『あの日、僕らの命はトイレトペーパーよりも軽かった ～カウラ捕虜收容所からの大脱走～』(脚本：中園ミホ、キャスト：小泉孝太郎、大泉洋他)をご覧頂ければと思います。戦時中の一端を知っていただきたく記します。